北海道駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成26年９月）

札 幌 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月１日に噴火予報（噴火警戒レベル１、平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図１-①～③、図２）

遠望カメラによる観測では、昭和４年火口の噴気は観測されませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図１-④～⑥、図４）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図５～６）

GNSS連続観測[1)]では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
2）赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(http://www.jma-net.go.jp/sapporo/)や気象庁のホームページ(http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html)でも閲覧することができます。

資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、北海道及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50ｍメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号　平 23 情使、第 467 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号　平 23 情複、第 492 号）。

次回の火山活動解説資料（平成26年10月分）は平成26年11月11日に発表する予定です。

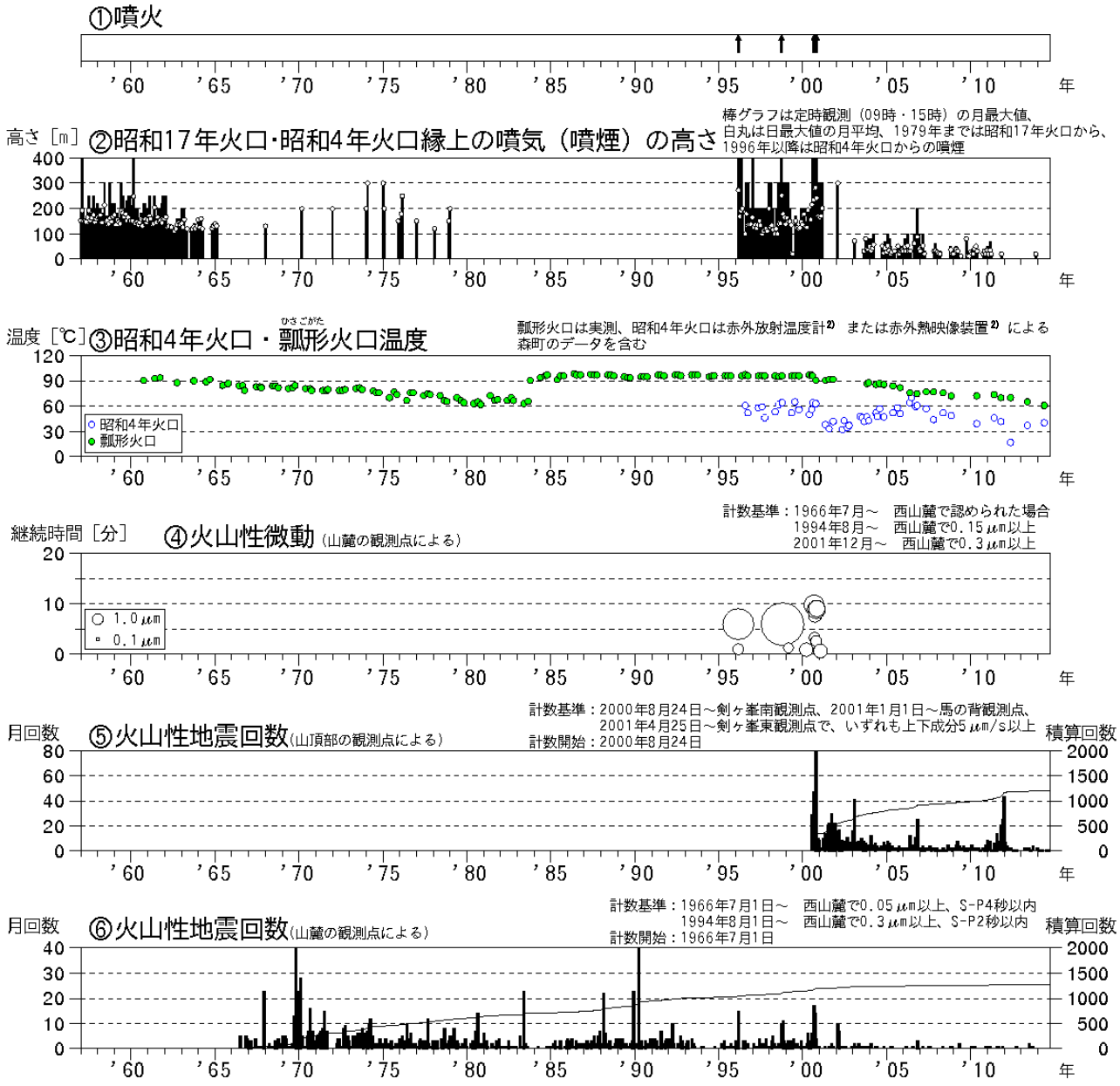

図１　北海道駒ヶ岳　火山活動経過図（1957年１月～2014年９月）

図２　北海道駒ヶ岳　東南東側から見た山頂部の状況
（９月18日、鹿部公園南東遠望カメラによる）

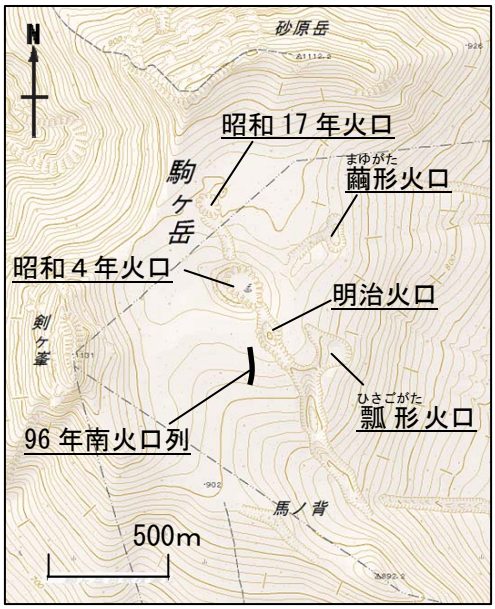

図３　北海道駒ヶ岳　火口周辺図

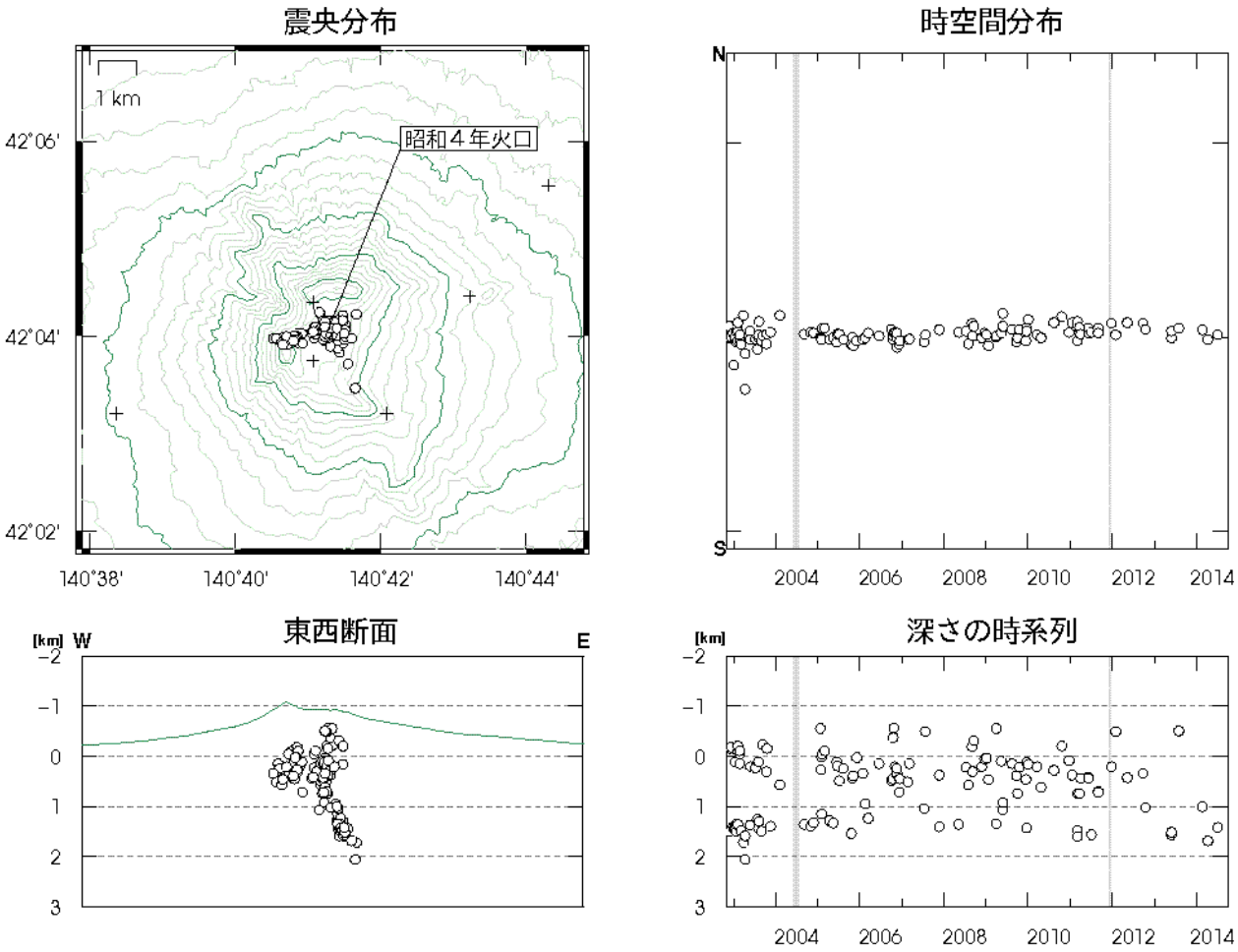

図４　北海道駒ヶ岳　火山性地震の震源分布（2002年12月～2014年９月）
灰色の期間は一部観測点欠測のため震源の決定数減少や精度低下が見られます
＋印：地震観測点
・今期間、震源が決定された火山性地震はありませんでした

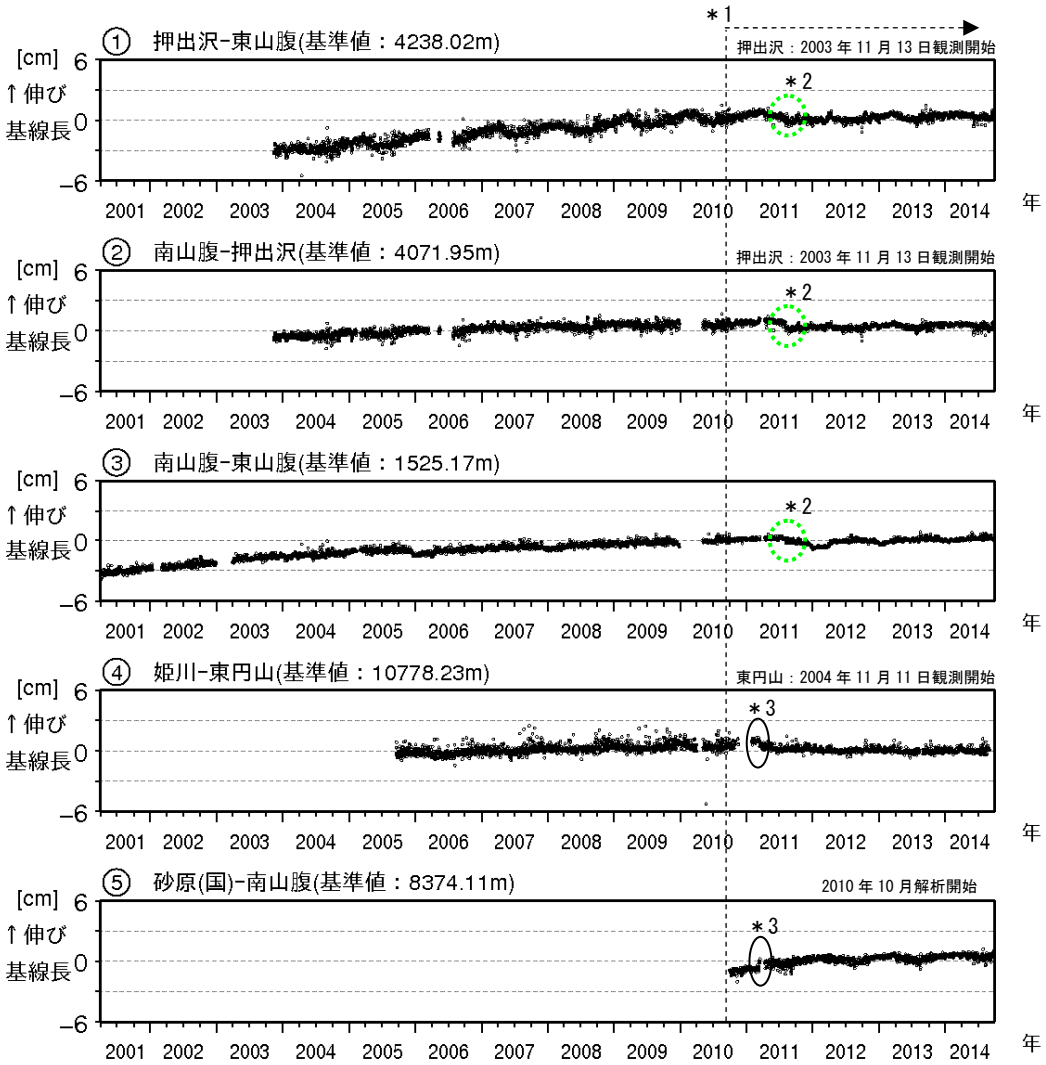

図５　北海道駒ヶ岳　GNSS連続観測による基線長変化（2001年４月～2014年９月）

・GNSS基線①～⑤は図６の①～⑤に対応しています
・GNSS基線の空白部分は欠測を示します
＊１：2010年10月以降のデータについては、解析方法を改良して精度を向上させています
＊２：緑点線円内の変動は、機器更新によるものです
＊３：楕円内の変動は、2011年３月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません

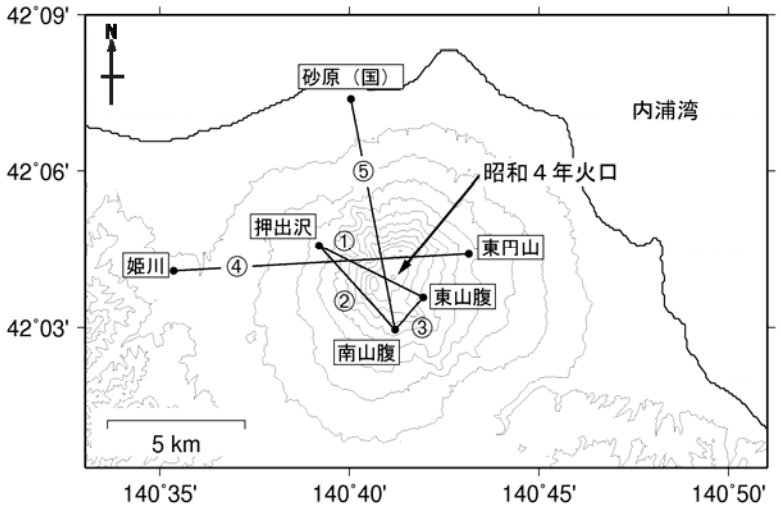

図６　北海道駒ヶ岳　GNSS連続観測点配置図
（国）：国土地理院

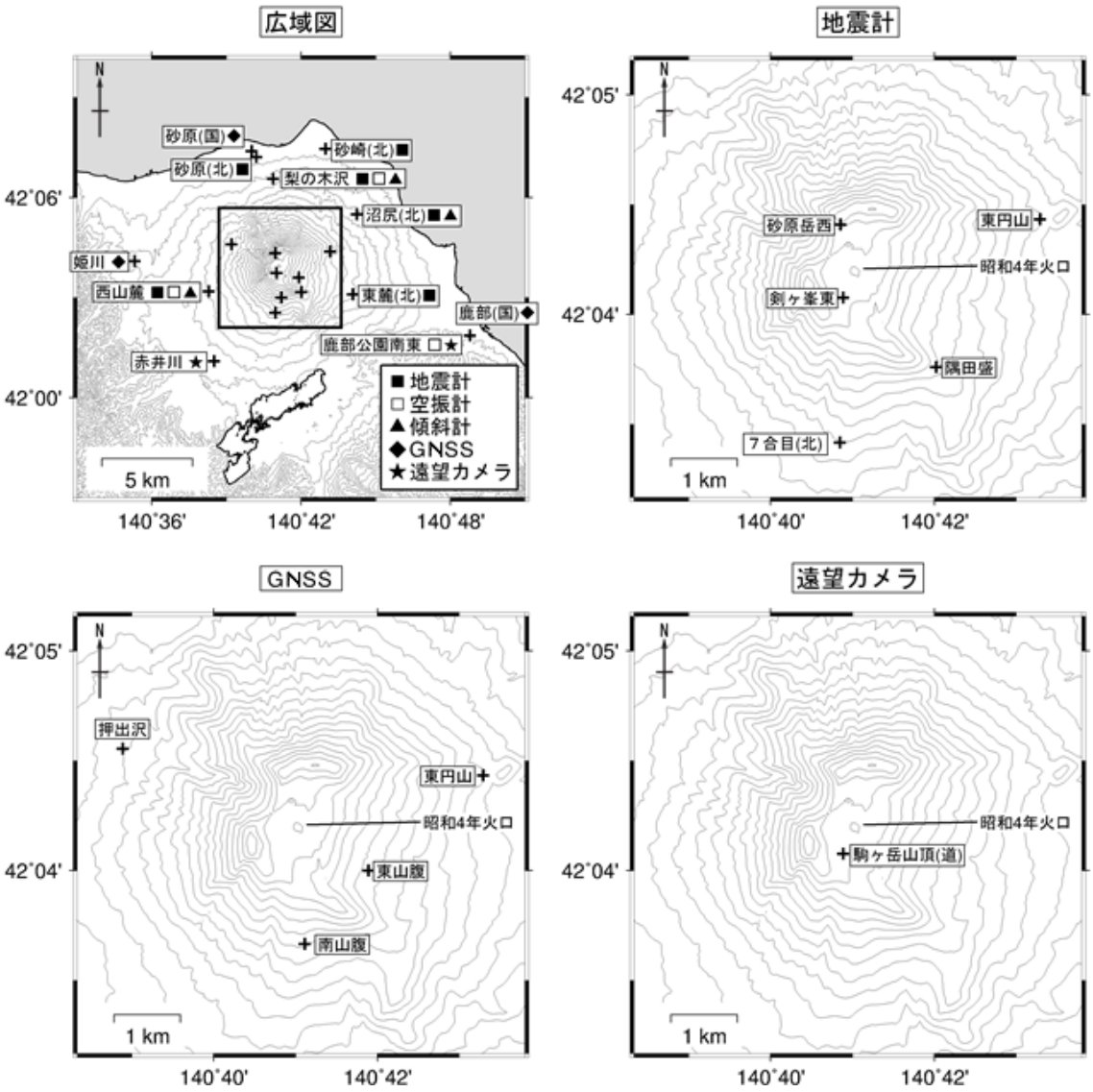

図７　北海道駒ヶ岳　観測点配置図
地震計、GNSS・傾斜計、空振計・遠望カメラの配置図の描画領域は、広域図内の□で示した領域を拡大したものです
＋印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
（国）：国土地理院
（北）：北海道大学
（道）：北海道